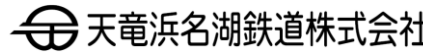


## 鉄道運賃の改定申請について



天竜浜名湖鉄道株式会社（本社：浜松市天竜区、社長：松井宜正）は、本日8月6日付にて国土交通省中部運輸局宛に2024年10月1日から実施予定の鉄道事業の旅客運賃上限変更認可申請を提出いたしました。

申請理由および申請概要は下記の通りです。

### 記

#### 1 申請の理由

第三セクター鉄道である当社は、国、県及び沿線市町の支援体制の中、平成26年4月1日の運賃改定（平均値上げ率13.9%）以降、収支改善を目的とした運賃値上げをすることなく、また、新型コロナウイルス蔓延期間中においても経費節減のための減便等もすることなく、様々な利益確保の取組みと経費節減努力により、地域の足としての役割を果たしてきました。

現在、当社を取り巻く状況は、故障が多発する老朽化した車両の更新が必要なこと、加えて昨今の資材費、人件費の高騰や施設の老朽化に伴う施設整備費の増加、自然災害の増加による保険料の高騰及び燃料費の高騰など、極めて厳しい経営状況下にあります。

そうした状況の中、収支の改善を図り、今後も当社が地方鉄道としての役割を安全、確実に果たし、また、旅客サービスの維持・向上のため、今般の旅客運賃改定の申請に及んだ次第でございます。

#### 2 上限運賃の申請内容

##### (1) 申請の概要

- 申請日 2024年8月6日
- 実施予定日 2024年10月1日
- 改定内容
  - 【改定率】

定期外	定期			合計
	通勤	通学	計	
10.1%	10.1%	4.2%	6.4%	8.8%

ii. 【現行・申請運賃比較表】

○普通旅客運賃（定期外）

営業キロ	現行運賃 (円)	申請上限運賃 (円)	運賃差 (円)
0～3.0	200	220	20
3.1～6.0	280	310	30
6.1～9.0	360	400	40
9.1～12.0	420	460	40
12.1～15.0	480	530	50
15.1～18.0	540	590	50
18.1～21.0	600	660	60
21.1～24.0	660	730	70
24.1～27.0	710	770	60
27.1～30.0	770	850	80
30.1～33.0	830	910	80
33.1～36.0	890	980	90
36.1～39.0	950	1,050	100
39.1～42.0	1,010	1,110	100
42.1～45.0	1,070	1,180	110
45.1～48.0	1,140	1,250	110
48.1～51.0	1,200	1,320	120
51.1～54.0	1,250	1,380	130
54.1～57.0	1,300	1,430	130
57.1～60.0	1,350	1,490	140
60.1～63.0	1,390	1,530	140
63.1～66.0	1,430	1,570	140
66.1～68.0	1,470	1,620	150

○定期旅客運賃

通勤定期旅客運賃 (大人1か月)

営業キロ	現行運賃 (円)	申請上限運賃 (円)	運賃差 (円)
0～3.0	7,910	8,700	790
3.1～6.0	10,700	11,850	1,150
6.1～9.0	13,520	15,020	1,500
9.1～12.0	16,320	17,870	1,550
12.1～15.0	18,620	20,560	1,940
15.1～18.0	20,420	22,310	1,890
18.1～21.0	22,230	24,450	2,220
21.1～24.0	24,040	26,590	2,550
24.1～27.0	25,810	27,990	2,180
27.1～30.0	27,610	30,480	2,870
30.1～33.0	29,410	32,240	2,830
33.1～36.0	31,190	34,340	3,150
36.1～39.0	32,990	36,460	3,470
39.1～42.0	34,780	38,220	3,440
42.1～45.0	36,590	40,350	3,760
45.1～48.0	38,360	42,060	3,700
48.1～51.0	40,160	44,180	4,020
51.1～54.0	41,960	46,320	4,360
54.1～57.0	43,370	47,710	4,340
57.1～60.0	44,780	49,420	4,640
60.1～63.0	46,210	50,860	4,650
63.1～66.0	47,630	52,290	4,660
66.1～68.0	48,630	53,590	4,960

通学定期旅客運賃 (大人1か月)

営業キロ	現行運賃 (円)	申請上限運賃 (円)	運賃差 (円)
0～3.0	5,380	5,650	270
3.1～6.0	7,280	7,640	360
6.1～9.0	9,170	9,630	460
9.1～12.0	11,080	11,630	550
12.1～15.0	12,660	13,290	630
15.1～18.0	13,700	14,390	690
18.1～21.0	14,760	15,500	740
21.1～24.0	15,820	16,610	790
24.1～27.0	16,890	17,730	840
27.1～30.0	17,940	18,840	900

30.1～33.0	18,990	19,940	950
33.1～36.0	20,050	21,050	1,000
36.1～39.0	21,120	22,180	1,060
39.1～42.0	22,160	23,270	1,110
42.1～45.0	23,210	24,370	1,160
45.1～48.0	24,280	25,490	1,210
48.1～51.0	25,350	26,620	1,270
51.1～54.0	26,410	27,730	1,320
54.1～57.0	27,450	28,820	1,370
57.1～60.0	28,300	29,720	1,420
60.1～63.0	29,150	30,610	1,460
63.1～66.0	30,010	31,510	1,500
66.1～68.0	30,850	32,390	1,540

### 3 鉄道部門収支の実績及び推定

(単位：千円)

	2023年度 (実績)	2025～2027年度 (3年間平均)	
		現行	改定後
収入	454,072	466,496	499,766
支出	761,713	807,564	807,564
差引損益	-307,641	-341,068	-307,798
収支率	59.6%	57.8%	61.9%

※収入には特別利益が含まれておりません。また、支出には特別損失が含まれておりません。

### 4 運賃収入内訳

(単位：千円)

	2023年度 (実績)	2025～2027年度 (3年間平均)	
		現行	改定後
定期外	225,446	243,286	267,743
定期	141,308	136,866	145,679
合計	366,755	380,152	413,422

### 5 需要見通し

(単位：千人)

	2023年度 (実績)	2024年度 (推定)	2025年度 (推定)	2026年度 (推定)	2027年度 (推定)
定期外	605	624	642	660	678
定期	797	790	782	775	768
合計	1,402	1,413	1,424	1,435	1,445
前年比	105.2%	100.8%	100.8%	100.7%	100.7%

## 6 設備投資実績・計画

### (1) 設備投資実績と計画

(単位：百万円)

	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	2023年度 (実績)	2024年度 (推定)	2025年度 (推定)	2026年度 (推定)	2027年度 (推定)
資産計上分	315	285	282	415	707	690	707
(うち車両更新)				(70)	(340)	(340)	(340)

### (2) 主要プロジェクトの内容

#### ①年間利用者の回復

安全確保を最優先として、アフターコロナを見据え、沿線地域や交通機関等と連携して観光誘客及び地域活性化に取り組むことで、観光利用者を中心にした一般旅客利用者の増加を図り、沿線の人口減少等による学生利用者、生活交通利用者の減少をカバーし、コロナ禍により減少した年間利用者を144万人まで回復させます。

#### ②安全な鉄道運営の継続

開業80年を超え老朽化が進む鉄道施設について、中長期維持管理（整備）計画に基づき、鉄道施設や設備の計画的な整備・維持補修に努めることにより、長寿命化を実現し、将来にわたる安全な鉄道運営を継続します。

#### ③車両更新

老朽化によるエンジンの故障頻発や、修繕において部品調達が困難となっていることから、安全運行を確保するため、計画的な車両更新を実施します。

## 7 これまでの経営合理化の状況及び今後の取り組み

業務内容を見直し、効率化、生産性の向上により時間外勤務縮減に努めるとともに、直轄工事の実施や競争入札の励行による外注費の削減などのほか、節電、不要なコピーの削減等にも気を配り、経費削減に努めています。

また、安全・安定した列車運行に必要な資金を確保するため、アニメ等を活用した誘客事業の展開及びグッズ販売の促進を図っているほか、副駅名ネーミングライツ・スポンサー対象駅の拡大や、沿線の地域の魅力を最大限に生かした誘客事業を実施しています。

なお、昨今公共交通事業における人手不足が深刻な社会問題となっており、この問題は当社の鉄道事業においても例外ではありません。地域交通を維持していくためには適正な要因体制の確立が不可欠であり、働き手の確保は喫緊かつ重要な課題であります。将来に渡って安全かつ快適なサービスの提供を維持していくために、従業員の処遇改善を図ってまいります。

## 8 運賃・料金の多様化の内容

### ①12ヶ月通学定期券の新設

2024年10月1日より、現行の6ヶ月定期の2倍並の価格に据え置いた、12ヶ月通学定期券のサービス開始を予定しております。割引率を高くして現行並のご負担に抑えけるとともに、

定期券の更新が1年に1回となり、お客様が更新のために発行窓口にお越しになるご負担の軽減を図ります。

## 9 利用者サービスの向上策

### ①車両更新

2025年度以降、毎年1両車両を更新し、安全運行を確保していきます。

### ②「駅窓口」クレジット決済の導入

2024年8月1日より、掛川駅・天竜二俣駅・西鹿島駅・三ヶ日駅・新所原駅において、窓口で販売している乗車券のクレジット決済を開始。

## 10 お問い合わせ先

- (1) 運賃改定申請に関するお問い合わせ先、  
天竜浜名湖鉄道管理部 (Tel053-925-6125)  
(〒431-3311 浜松市天竜区二俣町阿蔵 114-2)
  
- (2) 運賃・料金・列車時刻等に関するお問い合わせ先  
天竜浜名湖鉄道営業部 (Tel053-925-2276)  
(〒431-3311 浜松市天竜区二俣町阿蔵 114-2)
  
- (3) インターネットホームページ <http://www.tenhamaco.jp>